



普通高等教育“十五”国家级规划教材

# 新大学日语

## 阅读与写作

总主编 陈俊森  
主 编 吴 侃  
村木新次郎

4



高等教育出版社



普通高等教育“十五”国家级规划教材

# 新大学日语

## 阅读与写作

总主编 陈俊森

主 编 吴 侃

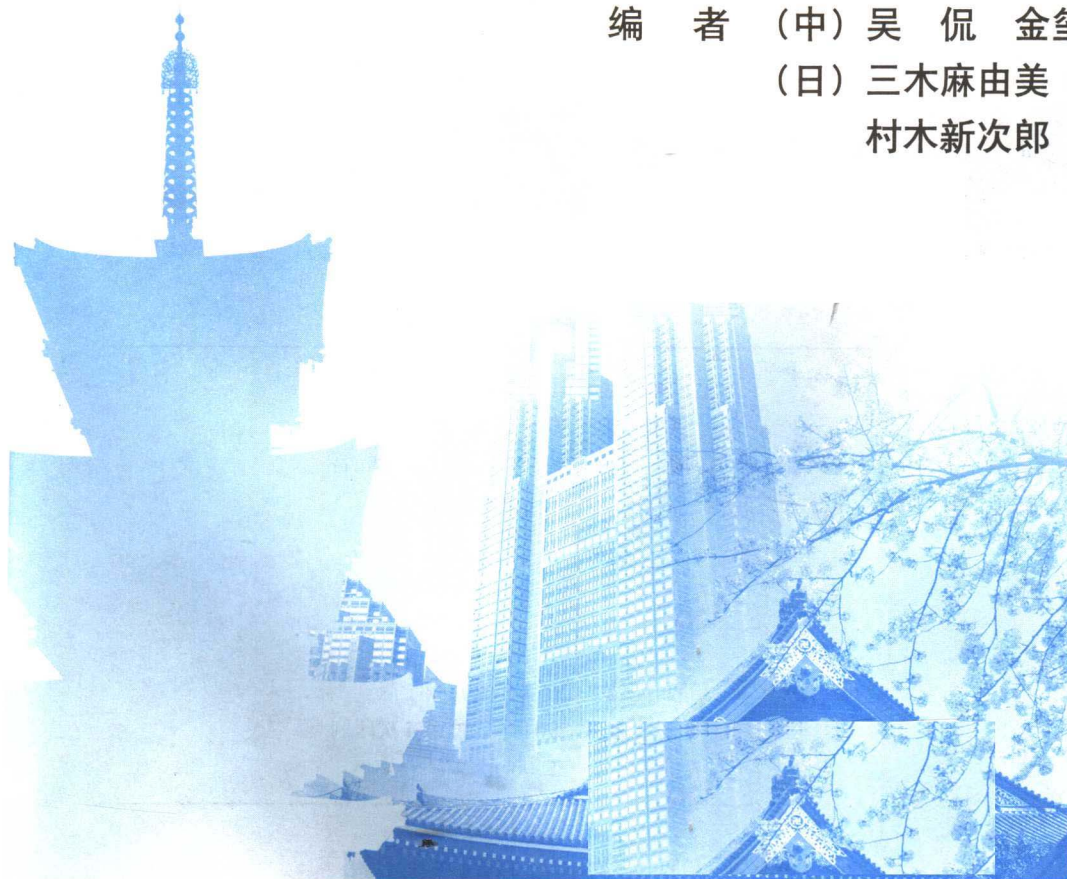
村木新次郎

编 者 (中) 吴 侃 金玺罡 韩建美

(日) 三木麻由美 田口圣子

村木新次郎 森下训子

4



高等教育出版社

### 图书在版编目(CIP)数据

新大学日语阅读与写作.4/吴侃等主编.—北京:  
高等教育出版社,2003.8(2004 重印)

ISBN 7-04-012141-7

I. 新… II. 吴… III. ①日语—阅读教学—高等  
学校—教材②日语—写作—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2003)第 058274 号

出版发行 高等教育出版社  
社 址 北京市西城区德外大街 4 号  
邮政编码 100011  
总 机 010-82028899

购书热线 010-64054588  
免费咨询 800-810-0598  
网 址 <http://www.hep.edu.cn>  
<http://www.hep.com.cn>

经 销 新华书店北京发行所  
印 刷 北京人卫印刷厂

开 本 850×1168 1/16  
印 张 14.75  
字 数 380 000

版 次 2003 年 8 月第 1 版  
印 次 2004 年 5 月第 4 次印刷  
定 价 25.00 元

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题,请到所购图书销售部门联系调换。

**版权所有 侵权必究**

## 《新大学日语》系列教材编写委员会

陈俊森 顾明耀 祝大鸣 翟东娜 赵刚  
陈百海 吴侃 侯仁锋 徐曙 陈薇

顾问 北原保雄 (日本筑波大学 校长 教授)  
顾明耀 (西安交通大学、日本广岛女子大学 教授)  
西村よしみ (日本筑波大学 教授)  
砂川有里子 (日本筑波大学 教授)  
山田泉 (日本大阪大学 教授)

主审 田忠魁 (黑龙江大学 教授)

总主编 陈俊森 (华中科技大学 教授)

总策划 祝大鸣 (高等教育出版社 编审)

各册主编 翟东娜 (北京师范大学 教授)  
赵刚 (西安交通大学 教授)  
陈百海 (黑龙江大学 教授)  
吴侃 (同济大学 教授)  
侯仁锋 (第四军医大学 教授)  
徐曙 (同济大学 副教授)

# 前言

## 一、编写背景

《大学日语教学大纲》1989年出版后对我国的大学日语教育起到了积极的指导作用和推动作用,至今已10余年。高等学校大学外语教学指导委员会日语组在总结了10余年来执行该大纲的经验之后,对其词汇表作了全面的修订,同时对正文和附表中的个别叙述也作了适当的调整。修订后的《大学日语教学大纲》(第二版)已于2000年4月经教育部批准颁发,并开始执行。

按照原《大学日语教学大纲》编写的《大学日语》系列教材(顾明耀、徐祖琼主编),在贯彻执行《大学日语教学大纲》,提高大学日语教学水平,推动我国大学日语教育事业方面发挥了重大作用,并受到全国广大日语教师和同学的普遍欢迎。随着《大学日语教学大纲》(第二版)的颁布,中国的大学日语教学改革也迈上了一个新的台阶。新的世纪呼唤着新的教材,教学改革也要求有新的教材与之配合。为此高等学校大学外语教学指导委员会日语组决定,组织全国重点大学的专家教授和具有广泛代表性的院校的优秀教师,编写新的大学日语教材。《新大学日语》系列教材就是在这种形势下诞生的。

本系列教材被列为教育部“普通高等教育‘十五’国家级规划教材”。

本系列教材在编写设计之前,广泛、认真地听取了全国诸多院校师生的意见,尤其是长期使用《大学日语》教材教师的意见,并于2000年全国大学日语教学研讨会上,在宣传贯彻新大纲的同时,组织各地代表对新教材的编写方案进行了认真的研讨。概括起来,与会教师对新教材提出了以下希望和建议:在培养日语交际能力方面要有所创新;在难度和分量上要有所控制,不宜超过中级程度;素材要有时代感、趣味性、实用性;考虑到当前外语教学课时减少的现状,阅读量可适当减少;在教材的构成上,读写与听说最好分开成册,听说内容应有所增加;教材应与大学日语四级考试密切配合,兼顾其他各类日语考试;单词的释义使用日语,以培养学生用日语思考的能力;在版式设计、图片使用、印刷、用纸等方面,要上档次、有美感等等。对这些建议,我们在编写这套教材时都已尽量予以考虑。

## 二、编写原则

1. 充分体现《大学日语教学大纲》(第二版)的精神和要求,既强调打好基础,又重视语言运用能力的培养;既考虑教材的实用性,也充分考虑到素质教育的需要;
2. 在充分吸收《大学日语》教材编写经验的基础上,采纳国内外新的外语教学理论,力求做到内容一新、结构一新、设计一新;
3. 语言知识的学习重点放在词汇与句型上,语言运用能力的培养以大纲中的“功能意念表”和“语言技能表”为主;
4. 选择、编写纯正、地道的日语文章、例句,同时注意文字优美、风格多样;

5. 既注重日本社会、文化背景,也注重中国社会、文化背景,同时考虑国际文化的大视野;
6. 在注意与大学日语四级考试衔接的同时,兼顾其他各类日语考试;
7. 为教师和学习者着想,在编写教材的同时,编写出简明、实用的教学参考书。并注意使本教材既作为大学日语的主干教材,也能兼顾其他学习者的学习需求。

### 三、教材构成

本套教材共 10 册,其构成如下:

新大学日语 阅读与写作 1~4;

新大学日语 阅读与写作教学参考书 1(1、2 册合订本)、2(3、4 册合订本);

新大学日语 听力与会话 1、2;

新大学日语 听力与会话教学参考书 1、2。

《阅读与写作》每册由 10 课组成,教学时间为 40~44 学时。每课由课文、生词、注释、词语用法、表达方式与句型、练习、阅读等部分构成。课文的题材广泛,体裁多样,既有反映时代脉搏的文章,也有传统文化的佳作;既有年轻人感兴趣的话题,也有思想内涵丰富的作品。每课的阅读部分配有两篇短文,内容大多与课文有所关联。每册教材安排了 3 个附录:附录 1 为两套自测题,难度与本册相当,题型与大学日语四级考试有相当的关联性。附录 2 为总词汇表、词语用法和表达与句型索引。附录 3 为两首日文歌曲。

《阅读与写作教学参考书》对应于各册教材,每册主要内容有:教学重点与学时分配、课文内容提要、背景知识、“词语用法”例句翻译与注释、“表达与句型”例句翻译与注释、语法学习、近义词辨析、近义表达方式、篇章法指导、写作指导、练习答案、课文及阅读材料译文。

《听力与会话》每册由 15 课组成,教学时间为两学期共 40~44 学时。每课分为 4 个部分。Part1 有听音跟读和听简短会话,这部分以训练大纲规定的听说技能为主。Part2 安排一篇 10~15 句左右的会话,会话内容均根据《阅读与写作》的课文或阅读文编写而成,通过内容、词汇、句型的关联,提高口语表达的熟练程度。Part3 分为两个部分:第一部分是 10 个较短的会话,每段会话为一道题,要求听会话回答问题或复述内容;第二部分是一段较长的会话,配有 3~4 道题。这部分除了训练听说技能之外,更着力于大纲所要求的交际能力的培养,因而对大纲规定的功能、意念项目作了全面的安排。Part4 是一篇几百字的会话,要求听录音填空或做笔记,写出大意后,口头讲述大意,Part 4 是听说的综合训练。每册教材后附有两套自测题和总词汇表。自测题难度与本册相当,题型与大学日语四级考试有相当的关联性。

《听力与会话教学参考书》也分别对应于各册教材,每册的主要内容有:听力指导、会话指导、听力材料、语法与注释、答案等。

### 四、鸣 谢

为了保证本套教材的编写质量,我们特聘请原大学外语教学指导委员会副主任委员、西安交通大学教授兼广岛女子大学教授顾明耀为中方顾问,聘请日本筑波大学校长、著名语言学家北原保雄教授



以及筑波大学西村よしみ教授、砂川有里子教授、大阪大学山田泉教授为日方顾问，聘请原大学外语教学指导委员会委员、日语组副组长、黑龙江大学田忠魁教授为主审。顾明耀教授在百忙之中对设计思想、编写大纲以及编写过程中的细节问题都给予了细致的指导和无私的帮助；北原保雄教授亲自为教材撰写课文，使教材生辉；西村よしみ教授、砂川有里子教授、山田泉教授对教材、教参中的日文部分仔细审阅，提出了宝贵的修改意见，同时对教材编写的宏观问题也提出了不少建设性的意见。田忠魁教授在对各册教材进行总体把关和审查的同时还对许多细节提出了积极的建议。各位顾问和主审的辛勤工作在这套教材中结下了丰硕的成果，在此对他们为我国大学日语教育所做的贡献表示衷心的感谢。

本套教材在设计和编写过程中，得到许多高等院校教师和领导的帮助和指导，许多教师为教材提出了很好的意见和建议。初稿完成后，曾多次征求有关院校教师的意见，并得到了他们的帮助和支持，谨表示衷心的感谢。

在教材编写过程中，我们与每篇文章的作者和出版社都进行了联系。对授予我们版权使用权的作者和出版社，谨表示衷心的感谢。

日本国际交流基金会对本教材的编写、出版给予了大力的支持与帮助，并提供了“日本语教材制作助成”项目的资助。日本国际文化フォーラム在著作权等方面予以很大的帮助和支持。谨在此一并表示衷心的感谢。

高等教育出版社的编辑们在教材的策划、编写、版式设计、插图选配等方面做了大量工作，谨表示衷心的感谢。

编写日语教材是系统工程，是很重要的科研活动，个中艰辛只有编写过教材的教师才能有所体会。虽然我们竭尽全力，希望编出一套令老师和学生都满意的好教材，但是还存在一些不尽如人意的地方，希望使用本教材的老师和同学提出批评意见，以便我们不断修订完善。

《新大学日语》系列教材编写委员会

2003年3月

## 本册使用说明

《新大学日语阅读与写作》第四册由 10 课构成，供 40~44 学时使用。每课内容构成如下：

### “読む前に”或“読みながら”

针对课文的中心内容或相关事物的导入式提问，或者指导学生在阅读课文时要特别注重之处。目的在于让学生加深对课文的理解和掌握该课文表达上的特点、重点。讲解课文时，可就这些问题展开讨论。

### “本文”

本部分为 1500 字之内的题材各异的文章。除随笔等一般叙述文章外，本册特别选用了几篇具有较强实用性的文章，如：机器使用说明书、工作规划书、合同书等等。此外，在内容上，为使学习者扩大知识面和加深对日本社会、文化的理解而选用了一些相关的文章。

### “単語リスト”1~4

本部分依次为“本文”、“言葉の使い方”、“表現と文型”、“練習問題”中的生词，按照出现顺序排列。其中对《大学日语教学大纲》(第二版)中的四级词汇标注了\*号。每个单词，除词缀外均标注了音调，所有单词均注明词性，并用日文释义。

### “注釈”

本部分为课文和阅读文中的语言难点和专有名词的简单注释。

### “言葉の使い方”

本部分为从课文中选出的重点或难点词，每个词给出若干典型例句，供学生学习掌握。例句译文参见教学参考书。

### “表現と文型”

本部分为从课文中选出的语言表达重点，分别用日文加以简单的解释，并给出若干例句。例句译文参见教学参考书。

### “練習問題”

每课的练习均包括课文提问、多项选择、中译日、作文等四种题型。此外，根据每课的特点设计了针对汉字读音、词义、单词结构、外来语等内容的练习。内容包括本课语言点的练习、前几课语言点的练习和能力测试练习。

### “チャレンジ”

本部分包括两篇 500~800 字的短文，供练习快速阅读使用。每篇短文后各有 5 道练习题。“チャレンジ 1”的练习为针对语言、表达、内容的综合练习，“チャレンジ 2”的练习主要为针对文章内容的提问。

# 目 录



## 第1課

本文 フルタイム化する人間関係 1

言葉の使い方 5

表現と文型 6

練習問題 8

チャレンジ1 携帯のない世界、理想と現実 13

チャレンジ2 携帯メールの落とし穴 15

コラム 携帯電話用語 16

今週の一句 一寸の虫にも五分の魂 16

## 第2課

本文 世界遺産 17

言葉の使い方 20

表現と文型 23

練習問題 24

チャレンジ1 廬山 27

チャレンジ2 世界遺産条約とは 29

コラム 世界遺産の登録基準 30

今週の一句 ごろ寝をさせて神は馬鹿を養う 30

## 第3課

本文 機械説明書 31

言葉の使い方 36

表現と文型 38

練習問題 39

チャレンジ1 空調機の操作方法 44

チャレンジ2 油圧ブレーカーの配管 45

コラム 若者言葉 47

今週の一句 貧乏人とは少ししか持たない者のことではなく、たくさんほしがる者のことである 47



## 第4課

本文 加工食品の問題点 48

言葉の使い方 53

表現と文型 55

練習問題 58

チャレンジ1 オーガニックって知ってる? 62

チャレンジ2 現代人の栄養素の摂取を妨げる理由 64

コラム 球技 65

今週の一句 青春は単なる人生の花盛りではなく、来るべき結実の秋への準備の季節である 65

## 第5課

本文 カタカナと元気の問題 66

言葉の使い方 69

表現と文型 72

練習問題 75

チャレンジ1 漢字 81

チャレンジ2 日本語の文字の体系 82

コラム 擬声語・擬態語の意味と用法 83

今週の一句 人生とは出会いであり、その招待は二度と繰り返されることはない 84

## 第6課

本文 企画書 85

言葉の使い方 91

表現と文型 93

練習問題 96

チャレンジ1 ○○株式会社10年史発刊について 100

チャレンジ2 新製品宣伝プレゼントの企画書 103

コラム 「格助詞」の「格」ってなに? 104

今週の一句 人間は一本の葦にすぎない。自然のうちに最も弱いものである。だがそれは考える葦である 105



## 第7課

本文 工場建設技術援助協定書 106

言葉の使い方 113

表現と文型 115

練習問題 118

チャレンジ1 ソフトウェア売買契約書 122

チャレンジ2 契約自由の原則 124

コラム 日本語における文の述べ方と話し手の立場 126

今週の一句 最も難しい三つのことは、秘密を守ること、他人から受けた危害を忘れること、暇な時間を利用すること 126



## 第8課

本文 綾を読む 127

言葉の使い方 132

表現と文型 134

練習問題 136

チャレンジ1 異文化摩擦の根っこ 140

チャレンジ2 欧米人が沈黙するとき 141

コラム 日本語の婉曲表現 142

今週の一句 目玉は眉毛よりも上へは上がらない 143



## 第9課

本文 大学生の読書 144

言葉の使い方 149

表現と文型 152



練習問題 154

チャレンジ1 私の読書術(一) 158

チャレンジ2 私の読書術(二) 160

コラム 日本人の読書量 161

今週の一句 楽しい人には草も花、いじけた人には花も草 161

## 第10課

本文 演歌と日本文化 162

言葉の使い方 167

表現と文型 169

練習問題 171

チャレンジ1 日本の音楽 177

チャレンジ2 NHK はなぜ、演歌が好きか 178

コラム 日本の歌 179

今週の一句 自分の飲んだ井戸には石を投げてはいけない 180

## 附 录 1

模擬テスト1 181

模擬テスト2 187

## 附 录 2

単語索引 194

言葉の使い方索引 211

表現と文型索引 212

## 附 录 3

日本の歌

1. ひだまりの詩<sup>うた</sup> 213

2. 昂<sup>たはる</sup> 216

# 第1課

## フルタイム化する人間関係

——はやる携帯メールと若者文化

読みながら

1. 携帯電話の普及で、人間関係や人間同士のコミュニケーションにどんな変化がもたらされたか。
2. 携帯メールを使うとき、人間同士のコミュニケーションに関して、どんな点に留意すべきか。



なかむら いさお  
中村 功

小さな画面を凝視しながら、若者たちが盛んに携帯電話のボタンを押している。近ごろ、街でよく見かける風景だが、彼らのやっているのが、今はやりの携帯メールだ。われわれが昨年行った調査によれば、  
5 八割以上の学生が携帯メールを利用し、毎日五回以上、メールをやりとりする者が四割近くを占めた。その広まりや、利用の活発さには目を見張るものがある。

はたから見ると何やら不可解な若者の行動だが、全国の携帯電話利用者にアンケート調査をしたり、メールの実例を学生から集めたりしてみる  
10



と、興味深いコミュニケーションの実態が見えてくる。

第一に、携帯メールの主な相手は、普段よく会う友人や、遠くに住む昔の友人である。その一方、メールだけでやりとりをする、いわゆる「メル友」は少ない。第二に、やりとりされる内容は、待ち合わせの約束とともに、その時々  
5 気持の伝達といった、おしゃべり的な内容が多い。携帯電話では用件連絡が主となるが、それとは対照的である。第三に、携帯メールには、絵文字、方言、擬音語、長音符号、幼児化表現などの、表現上の特徴が見られる。

例えば、「今日まじで寒いよねーハ | つっ学校の行き帰りがつらいさ」  
10 うか明日統計学やん…もう数字見たくない」。これは、現状報告とその時々  
の感情表出を内容としているが最も典型的な携帯メールの例である。そのほか、身の回りのちょっとした話題や、幸福の手紙めいた「チェーンメール」も多い。

その一方、「進路についていろいろ悩みまくっています。大学生になっとけばよかったと常日ごろ感じておりますっ」などといった真剣な相談事もある。

こうした利用実態をみると、次のような影響が考えられる。第一に、携帯メール  
15 では、よく会う間柄で、ちょっとした感情が常にやりとりされていることから、フルタイム化した緊密な人間関係の形成が考えられる。会っては話し、別れても携帯メールで常におしゃべりする「べたべた」とした関係である。

第二に、そうした間柄で、待ち合わせの道具としても利用されることから、携帯メールは、対面接触を活性化したり、人間関係を深化させたりするのではない  
20 だろうか。

第三に、携帯メールでは、感謝や励ましなど、面と向かって言いにくいことがいいやすくなる。これは、表情や声色が伝わらない「手掛かりの少なさ」が原因となっている。ニュアンスの伝わりにくさによるトラブルを避けるために、絵文字が多用され、一定の効果をあげている。しかし、受け手の反応が伝わりにくい、元  
25 気さや思いやりを取り繕いやすい、などの問題もある。利用者は対面コミュニケーションとの違いを認識し、メールだけに頼らないことが重要であろう。

第四に、携帯メールはかつての人間関係を維持する道具ともなっている。普段あまり会わない友人とやりとりする人が利用者の四割程度いるが、その多くは、進学や就職で離れ離れになった友人たちである。通信コストの安さもあり、こうした間柄で、日常のちょっとした出来事や、気持ちがやりとりされているのである。  
30

「おはよう! 食料の備蓄状態はどうですか?いつものなら送れるよ!」これはあ

る下宿学生への母親からのメールだ。携帯メールの人間関係といっても、多くは学校の友人や親子など、従来の人間関係を背景にしている。そしてその影響も基本となる人間関係の在り方に大きく左右されるのである。

(京都新聞、2001. 2. 2)

## 単語リスト 1

- |                      |        |                                       |
|----------------------|--------|---------------------------------------|
| 1. フルタイム③            | [名]    | 一定の時間帯の最初から最後まで。全時間。                  |
| 2. 携帯メール (けいたいメール) ⑤ | [名]    | 携帯電話でやり取りされるメッセージ。                    |
| 3. 凝視 (ぎょうし) ⑩       | [名・他サ] | 目を凝らしてじっと見ること。                        |
| 4. 広まり (ひろまり) ⑩      | [名]    | 広く行き渡ること、また、広く知られるようになること。            |
| 5. 活発 (かっぱつ) ⑩       | [形動]   | 元気はつらつとした様子。活気があり勢いのよい様子。             |
| 6. 見張る (みはる) ⑩       | [他五]   | びっくりして目を大きく開いて見る。                     |
| 7. 興味深い (きょうみぶかい) ⑤  | [形]    | たいへん面白く心が引かれる様子。関心が持たれる様子。            |
| 8. *コミュニケーション ④      | [名]    | 言葉や身振りなどによって意思、感情、情報などを伝えること。         |
| 9. メル友 (メルとも) ③      | [名]    | ほとんど対面せず、携帯電話でメールだけをやり取りする関係の友達。      |
| 10. *待ち合わせ (まちあわせ) ⑩ | [名]    | 時間と場所を約束して、互いに出会うようにすること。             |
| 11. *出来事 (できごと) ②    | [名]    | 社会で起こる事件、事柄。また、不意に起こる事柄。              |
| 12. 用件 (ようけん) ③      | [名]    | 重要な、または必要な事柄。                         |
| 13. 絵文字 (えもじ) ②      | [名]    | 記号や文字を組み合わせで作るシンボリックな絵。               |
| 14. まじ ①             | [名・形動] | 本気で。本当に。口頭語。若者語。「まじめ」から。              |
| 15. 身の回り (みのまわり) ⑩   | [名]    | 日常生活に必要な衣類などの持ち物、また、身の周りの雑事。日常的な行為など。 |
| 16. チェーン ①           | [名]    | くさり。                                  |

- |                     |        |                                                      |
|---------------------|--------|------------------------------------------------------|
| 17. *進路 (しんろ) ①     | [名]    | これから進んで行く道、特に、人や組織などが将来進んで行く方向を言う。                   |
| 18. 常日ごろ (つねひごろ) ①  | [名・副]  | 日常いつも。ふだん。                                           |
| 19. 間柄 (あいだがら) ①    | [名]    | 親類、友人、師弟など、人と人との関係。                                  |
| 20. 活性化 (かっせいか) ①   | [名・他サ] | いきいきとさせること。物質などの働きや化学変化をより大きくすること。組織や集団の活動を活発に進めること。 |
| 21. 声色 (こわいろ) ①     | [名]    | 声の調子。こわね。                                            |
| 22. 手掛かり (てがかり) ②   | [名]    | 調べたり解決したりするためのきっかけ。                                  |
| 23. ニュアンス ①         | [名]    | 意味、色合い、声色などの微妙な感じや違い。                                |
| 24. 受け手 (うけて) ①     | [名]    | 受ける側の人。                                              |
| 25. 取り繕う (とりつくろう) ⑤ | [他五]   | 過失や体裁の悪いことを隠して、その場を済ます。                              |
| 26. 頼る (たよる) ②      | [他五]   | 当てにしてすがる。たのみにする。                                     |
| 27. 離れ離れ (はなればなれ) ④ | [名・形動] | 一緒にいた人・ものが互いに離れてしまうこと。散り散りになること。                     |
| 28. コスト ①           | [名]    | 経費。原価。                                               |
| 29. 備蓄 (びちく) ①      | [名・他サ] | 万一に備えて蓄えておくこと。                                       |
| 30. *下宿 (げしゅく) ①    | [名・自サ] | 部屋代、食費などを払って、他人の家の部屋を借りて住むこと。また、その住居。                |
| 31. *親子 (おやこ) ①     | [名]    | 親と子。                                                 |

## 注 釈

### 1. 本文に出ている携帯メールの記号:

| ——二つの内容の区切り。

っっ——促音が入るような嘆息の音。

▽——下降調のイントネーション。

△——苦渋の顔。

### 2. 幸福の手紙——ある日、突然、知らない人から手紙が来て、「これと同じ内容の手紙をほかの人にできるだけたくさん送ると、幸福があなたに訪れます。」といった内容が書いてある。それを信じて、自分の知人・友人などに同じ手紙を送る。チェーンが伸びるようにどんどん広がっていく。これを俗に「幸福の手紙」と呼ぶ。

# 言葉の使い方

## 1. 見掛ける

- ・あの人はこの辺でよく見掛けるが、どういう人かはわからない。
- ・今日の会合にはあまり見掛けない顔が多いみたいだね。
- ・ちょっとすみません、小さい犬を連れた5歳ぐらいの女の子を見掛けませんでしたか。
- ・順二君の姿を、最近全然見掛けないね。どうしているかな。

## 2. はやる／はやり

- ・一昨年はへそ出しルック、去年は厚底ブーツ、今年は何がはやるかな。
- ・近ごろ悪性の風邪がはやっていますから、気をつけないといけませんよ。
- ・特に特徴があるわけでもないけど、あの店はじつにはやっている。
- ・格好がどうのこうの、色がどうのこうのなんて野暮くさいことを言わないで。これは今はやりの服だよ。
- ・化粧や服装のはやりすたりが激しいのは、世の中が平和だからかな。

## 3. やり取り

- ・彼にはもう何年も会っていない。連絡といたら年賀状のやり取りぐらいだ。
- ・着いたとき、宴会がもう始まっていて、みんなが盛んにさかずきのやり取りをしている最中だった。
- ・どちらの側も言葉のやり取りだけで、まじめに交渉をまとめようという気がないらしい。
- ・電話でのやり取りをそばで聞いていたが、問題は相当こじれているらしい。

## 4. 報告

- ・トラブルの経過を社長に報告してから対策を考えよう。
- ・毎日きちんと作業の結果を報告書にまとめている。
- ・現地特派員の報告によると、二国間の紛争はもはや最悪の状態になりつつあり、戦争さえ取り沙汰されているという。
- ・今はやっと中間報告を受けた段階で、最終的に結論が出せるのは、もう少し先のことだ。

## 5. フル

- ・大丈夫、フルスピードで走れば間に合うよ。
- ・ここの記入はフルネームをお願いします。
- ・この四半期で、景気がよくなり、注文が増えて、機械はフル稼働だ。
- ・フランスに行ったら、ぜひ本場のレストランでフルコースのフランス料理を食べてみたい。